

平成24年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成24年10月25日(木) 午後1時00分～2時30分
場 所 湯梨浜町役場 別館1階 講堂

1. 開 会

(進行：仙賀副町長)

時間になりました。皆さんお忙しい中ありがとうございます。まだ若干来られていない方もありますけれども、ただいまより平成24年度第2回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を開催いたします。

2. 会長あいさつ

こんにちは。東郷湖活性化プロジェクトチームについて、ちょっと復習をしてみますと、東郷湖周辺あるいは湯梨浜にいっぱい事業があります。そういう事業を皆で共通に理解する、そしてそうした事業が連携して総合力として東郷湖を中心にしながら湯梨浜町を活性化するという、そういうねらいがあるんだろうと思います。今回は、前回のご意見で見直したところを事務局からご説明いただき、そのあと24年度の進捗状況の話をしていただくことになっておりますが、どうぞ忌憚のないご意見をいただきながら、より効果的な事業になるようにと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 町長あいさつ

皆さん、昼中のご多用なところご出席いただきまして、本当にありがとうございます。したがってあいさつも簡潔にさせていただきます。今日は本年度の中間報告みたいなかたちで、PDCAサイクルのD oのあとでチェック(Check)ということで、下半期の活動にきちんと結び付けていきたいという趣旨ではないかと思っております。そのほかにも県の方から、東郷池の河川整備計画の検討状況等について、ご報告をいただいたりするようになっております。いろいろ町のほうからもお願いしたりしておりまして、それに沿って進めていただいておりますけれども、住民の皆様の意向もとても大切にしておられますので、忌憚のないご意見をいただければというふうに思っているところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(仙賀副町長)

そうしますと、4番以降は会長のほうから進めていただきます。

(山田会長)

事務局から、県からおいでになっているお二人をご紹介しますか。

*鳥取県中部総合事務所 県土整備局 桑田局長、道路都市課 川原副主幹より自己紹介。

4. 協議事項

(1) 平成24年度事業進捗状況について

(山田会長)

そうしますと、お手元の協議事項についてご説明をお願いしますけれども、個別事業の進捗状況ということで、東郷湖活性化プロジェクト事業体系図の見直しについて事務局からお願いいたします。

(事務局 赤坂)

失礼します。お手元の東郷湖活性化プロジェクト事業体系図の資料をご覧くださいませでしょうか。こちらの資料ですが、第1回の会議のときには事業No. 4『内水面の環境保全』とあるところに『シジミの生息環境改善対策』というものが入っておりました。この中に“シジミの生息環境改善対策”と“エコファーマー”、あと“クリーンアップ事業”といった内容のものが含まれておまして、委員の方から「事業の目的から項目を分けたほうがよいのではないか」「目標の再設定が必要ではないか」また、エコファーマーについては、「別立てして産業部門に」とのご意見をいただいておりますので、第2回会議に際しまして、こちらの事業を3つに分けさせていただきました。『シジミの生息環境改善対策』につきましては、覆砂だけではなく稚貝放流等の事業も含めまして産業部門のほうに変更させていただきました。また、“クリーンアップ事業”につきましては『内水面の環境保全事業』ということで環境部門に。また、『エコファーマーの推進』ということで、産業部門に別立てで追加をさせていただいております。以上です。

(山田会長)

具体的には、ナンバーで言うと4番と17番と18番ですね。よろしいでしょうか。と、というような体系図の変更をしましたということです。では、以下、従前どおり担当課長による個別事業の進捗状況の報告をお願いいたします。では順次お願いします。

◆個別事業の進捗状況

(前田町民課長)

はい。それでは町民課から私が申し上げます。町民課は2ページ3ページでございますので、該当するページをお開きいただければと思います。最初に水草の肥料化ということで、この事業は平成20年度から実施をしてきたものでございます。本年度につきましても、水草の刈取りをして水質浄化に役立てたいということで計画をしたところでございますが、水草、藻の発生がなかったということもございまして、この刈取りを実施することができませんでした。目標に対する達成度としては0%ということでございます。この水草肥料化が昨年と本年度中止となったということで、いろいろと原因はあろうかと思っておりますけれども、本年度につきましても塩分濃度が比較的高いということ、それから夏場特にアオコが発生をした、非常にさくさん発生をしたということで、光が遮られて、この水草の成長が阻害されたということが、推定される要因の一つではないかなというふうに考えておるところでございます。

次に東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進ということで、こちらの事業は、平成20年度から実施をしているものでございます。今年度はアダプトプログラムの参加団体、平成23年度末25団体だったものを30団体に拡大をしたいということで、現在取り組んでおるところでございます。現在の中間報告といたしましては、2団体、このアダプトプログラムの趣旨に賛同していただきまして、参加をするという表明をいただいております。現在が27団体というところでございます。以上です。

(岸田建設水道課長)

続きまして、建設水道課です。4ページをお願いいたします。水質浄化覆砂事業及び効果検証ということで、覆砂工事は平成21年22年に実施いたしまして、平成21年から23年にかけて効果検証調査を実施しております。今年度も継続中ということで、目標に対する達成度は50%ということでした。以上です。

(山田産業振興課長)

産業振興課から内水面の環境保全についてご説明させていただきます。計画としては漁協さんの協力をいただきまして、東郷池の湖面・湖底のゴミの回収を行うというものです。本年度については10月27日に実施予定でございます。目標としては、昨年は台風等の影響で相当ありましたけれども、24年度目標といたしましては19.6㎡を目標としておるところでございます。以上です。

(中本企画課長)

続きまして6ページでございます。稚魚の放流調査ということで、サケを卵から育てて放流するというので、これにつきましては、進捗といたしましては12月からということで、現在のところ進捗はございません。そのほかホームページ等で今後公開していく予定でございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

次、7ページでございます。池の産物料理メニュー化促進でございます。現時点で特にこれといったメニューの開発は行われておりません。ただ、商工会青年部等が中心となって『鬼しじみ焼きそば』をいろいろなイベントで出しております。大変好評を得ております。そのへんを商品化できればなということで検討しておるところでございます。

次、8ページでございます。カニバス事業でございますが、これも例年12月15日から3月31日まで実施する計画でございます。本年もその打ち合わせ等を実施しておりますけれども、従来どおり行っていくというような話で実施する予定でございます。それに加えて、松崎地区の団体と連携しながら街あるき新聞を作成したり、旅館、施設や飲食店への波及効果を狙うということでございます。

9ページでございます。特産品販売促進活動でございますが、9月6、7日に東京新橋のアンテナショップにおきまして、二十世紀梨と、今観光協会が進めております『愛すプロジェクト』が製作しましたアイスの販売を行いました。結果としてはもう一步だったわけでございますけれども、そういったものを含めて、今アイスクリームのプロジェクトチームが徐々に活発化してきておりまして、各イベントで販売等を進めておる状況でござい

ます。

次の10ページでございますが、観光商品造成戦略活動でございます。これは、滝床のツアー、梨選果場ツアー、それから野花梅園ツアー等の推進をはかっておるところでございますが、滝床ツアーについては、昨年よりは若干数は減っておりますけれども、なかなか好評を得ているところでございます。ただ、この事業についてはなかなか経費の部分で相当きつくなりまして、継続していく方法を今後も検討していかなくてはならないのではないかと考えております。それから、JRのキャンペーンの中で倭文神社ということで参拝プランを計画してきたわけでございますけれども、残念ながらあまり効果が出ておりません。これについても今後啓発していこうかなというところでございます。以上でございます。

(山口委員：燕趙園)

燕趙園の遊覧でございます。燕趙園と望湖楼を発着とする遊覧船を運行するというものがございます。現在のところ、5月、9月、10月にそれぞれ1件ずつ引き受けをしております。若干通常の年よりも動きが緩いのかなあという印象でございますが、9月29日におきましては、「地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会」ということございまして、中国茶藝も行ったということでございます。

12ページでございます。道の駅燕趙園でございます。「観る」「食う」「買う」の三つの柱で賑わいを創出したいというふうなことでございます。進捗状況・実績につきましては右下のほうに記載がございまして、黒い菱形につきましては燕趙園を中心としたイベントでございます。下の二つ、白の菱形、これに実はもう一つありまして、5月に道の駅のほうで駅弁を作っております。その販売が一つ。それから、旬のおまかせ野菜セット。これは売店のほうで旬の野菜を詰め合わせにして、お送りするというプランを組んでおります。それから最後にオリジナルプリン。これはレストランでオリジナルプリンを販売するというようなことを行っております。また、今後は、単独で売るよりも、道の駅と燕趙園の庭園を含めたイベントを行って、誘客をはかりたいというふうに考えております。以上でございます。

(山田産業振興課長)

続きまして13ページでございます。ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会でございますが、本年は6月17日に開催いたしました。開催規模は昨年よりも50名多く募集いたしました。定員を大きく上回る申込みをいただきました。財源の関係でございますが、本年はTOTOスポーツ振興助成というものを受けることができまして、事業費的には若干余裕がある事業だと考えております。目標としております宿泊者の拡大ということでございますけれども、宿泊者の目標を74名としておりましたけれども、本年は204名の宿泊がございました。目標を大きく上回っております。ボランティアについては昨年よりも若干減りまして97.8%という数字になっています。以上でございます。

(中本企画課長)

14ページでございます。湯梨浜夏まつりでございます。事業の目標としましては、湯

梨浜夏まつりの認知度を向上させるということで、ホームページのアクセス数を 3,000 以上というようなかたちで設定しておりました。進捗状況としましては、7月22日に水郷際を開催し、7月28日に、ここには書いていませんけれども、泊の夏まつりを開催したところでございます。アクセス数としましては、2,937件ということで、3,000にはちょっと届かなかったわけですが、98%という達成度でございました。

次が15ページでございます。中華コスプレ・プロジェクトにつきまして説明させていただきます。事業の目標といたしましては、参加者を前年以上にするということで、前年度の日本大会が112名、アジア大会が155名でございました。実績といたしましては、5月に行いました日本大会が194名の参加で、前年度よりも上回ってきたという結果になっております。それと第5回の中華コスプレアジア大会というものが、来月ですけれども11月10日、11日に開催を予定されております。これにつきましては、マンガの補助金等もいただきながら今年度は企画を増やして中華グルメの祭典、中国アニメの上映、中国アニメ映画監督とのシンポジウムなどを企画されておるところでございます。現在の申込状況としては、日本国内165名で海外が30名ということになっております。ただし、今回、いま中国との問題があって、中国のほうの参加者が減るのではないかとということが懸念として残っているところでございます。大会状況については以上です。

続きまして東郷湖ドラゴンカヌー大会でございます。参加チームの増加を図り、幅広く東郷池の魅力を発信するというので、目標を100チーム、県内外のチームを幅広く募るということを目指しておられたところでございます。進捗状況といたしましては、大会を8月26日に開催いたしました。実質参加チームは76チームで、前年度80チームでございましたので4チームほど少なかったというのが状況でございます。評価といたしましては、なぜ減ったかという分析なんですけれども、大会日程が他のドラゴンカヌーイベントと重なった関係で、例年の参加をしているチームの参加がいただけなかったということが、原因のひとつにあるということで聞いておるところでございます。それと、魅力アップというかたちで、屋台等の充実については幅広く参加を募り、近隣の琴浦ぐるめストリート等も出店いただいて賑やかに開催されたということで最終評価をしているところでございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

続きまして17ページでございます。水源域森林育成作業でございます。事業の内容につきましては、間伐事業の森林整備、竹林整備、そしてクヌギ分収造林といったようなことを計画しておりますが、目標としましては、竹林整備として1.5ha以上、森林間伐として20ha以上を目標として推進をしておりますが、現在のところ竹林整備として0.24ha、間伐として5ha程度の要望しかまとまっておりません。

次に18ページでございます。エコファーマーの推進でございます。これは先ほど事務局からもありましたけれども、水田に関するエコファーマーは概ね98%程度まで認定が済んだということを受けて、樹園地のエコファーマーの育成をはかろうではないかというものです。実施計画としては、環境に優しい果樹経営農業者の育成、東郷池の水質に影

響のある農薬・化学肥料の使用量低減、それから農薬散布後の残農薬処理の適正化ということをあげて進めております。現在のところ、農協の取り組みとしては、各支部を通じて防除後の残農薬の適正処理について周知・指導をしておられるということでございます。目標としましては、果樹農家エコファーマー認定制度、これは特に県等にはありませんので、独自の認定制度の策定ということになるかと思いますが、それに向けて努力することでございます。

次に19ページでございます。シジミの生息環境改善対策でございます。シジミの生息区域の拡大を図って東郷池の水質浄化を図るというものでございまして、覆砂により、水深2m程度のところの泥分50%以上のシジミが生息しやすい環境を作っていくということで、本年は約2,000㎡を計画しておられます。事業の実施としては、11月3日を予定しておられるところでございますが、稚貝がなかなか確保できないということで、明日対策会議を開催する予定にしております。事業費としては町の補助ということで、事業費100万円に対して町が1/3補助する予定にしております。以上でございます。

(岸田建設水道課長)

続きまして20ページでございます。観光ルート整備ということで町道今滝線の改良でございます。現在、用地測量等を9月に発注しております。現在測量中。それから工事に関する関係機関等協議、用地交渉を進めております。11月中頃には工事発注ができる予定でございます。達成度としましては、現在30%でございます。以上でございます。

続きまして21ページでございます。藤津公園の地盤沈下対策ということで、これにつきましては6月で全て完成ということでございます。以上でございます。

(県土整備局 川原副主幹)

22ページでございます。東郷湖周辺道路整備事業です。今年度、平成24年度より測量設計に着手しております。これは藤津から宮内の区間ということで歩道設置事業を実施しているところでございます。22ページの資料に実施の方針というところがあるんですけども、そこに計画延長L=860m、その次に、W=6.0m(10.0m)とあるんですが、ちょっと訂正がございまして、6.0が5.5m、10.0が9.25m、これが今現在の計画の予定となっております。その次に、図面をお付けしております。そちらをご覧ください。現在測量中ではございますが、だいたいこのようなイメージになるのではないかなということをお付けしております。計画としては、桜の木が当延長にございますが、これを全てといたしますか、極力残すような方向で計画をしていきたいなというふうに思っておりますが、道路の拡幅、歩道を設けるためにですね、どうしても拡幅しなければならないので、やむを得ず切らなきゃならない部分が出てきます。それをちょっと説明させていただきたいと思います。図面の左側、藤津公園あやめ池のところになります。赤でぐるぐるっと囲ってございますが、ここの17本については、下に横断図がありますけれども、歩道の中に木を残すような形で残したいなとは思いますが、一部やっぱりどうしても枝が通行の邪魔になる部分が出てきますので、枝はらいをさせていただかなきゃならないかなというふうに思っています。それから、右のほうに行きまして、水色でぐるぐるっ

と囲ってありますが、こちらは道路拡張に伴い伐採ということで15本。これは湖側じゃない側を、石碑の近くなんですけれども、ここが15本程度どうしても支障になるので、切らせていただかなきゃならないかなという雰囲気です。その次、ちょっと離れたところに赤でぐるぐるっと囲んでありまして、3本ありますが、ここはまだ詳細に測量ができていませんのではっきりとは言えないんですけれども、ひょっとしたら縦断勾配ですね、道路の計画のために3本ほど切らなきゃいけない可能性がありますのでご承知ください。そして、宮内側ですね、伐採ということで9本、青でぐるぐるっと囲ってございます。こちらのほうは歩道を拡幅するために、どうしてもやむを得ず切らなきゃなりません。現段階ではこのような感じになるのかなと考えております。なるべく、桜のほうは残していきたいなと思っておりますが、どうしても切らなきゃいけない部分が出てきますので、それをご承知いただきたいというふうに考えています。あと、桜はですね、今道路敷地外に植わっております。全て民地です。道路整備後も民地のほうに桜は残りますので、ゆくゆくは、その管理について、また地域の皆さん、区を含めて、どういうふうに管理していくのかといったご相談といいますか話し合いをしていかなきゃいけないかなと考えております。以上です。

(本田生涯学習・人権推進課長)

23ページでございます。東郷荘絵図活用導入事業でございます。進捗状況でございますけれども、6月27日に第1回の研修会を開催してございますけれども、第2回の研修会につきましては11月8日に開催予定ということで、町報11月号により周知していきたいというふうに考えております。解説ボランティアの養成に向け、産業振興課・企画課・当課の3課で協議をさせていただいたところでございまして、予定通り進捗ということで達成度は30%とさせていただいております。以上でございます。

(中本企画課長)

続きまして、ゆりはま塾でございます。このゆりはま塾は、町の歴史や伝統、技術等を習得し、次世代への継承と、最終的には観光ボランティアのほうにも参加していきたいというような目標を持って開催しているところでございます。現在の目標といたしましては、事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開するという形で行っておるところでございます。進捗状況といたしましては、現在5月から9月までの間に塾生による自主学習会という形で4回と、ゆりはま塾という形で町の生涯学習課と一緒にしながら、ゆりはま塾を開催しているところでございます。現在までの評価といたしましては、塾生9名で自主的に学習活動に取り組んでいただいております。生涯学習・人権推進課と連携をしながら事業を行っていくということでございます。ホームページにつきましては、状況を随時報告しておるところでございます。目標の達成度としましては上半期で50%という形での達成率とさせていただいているところでございます。

続きまして、東郷湖・未来創造会議（天女の降る里づくり）と言いまして、今年度からこのプロジェクトのほうにも入っていただいている内容でございます。町長が説明しましたように、今年度はキャラクターの製作とかシンポジウムの開催というかたちで、未来創

造会議で集約したものを二つ以上具現化していくという目標を立てておるところでございます。現在の進捗状況といたしましては、キャラクターの募集を始めて最終的にはデザインの決定を、あとでまた説明しますが、キャラクターのデザインができたところがございます。現在はキャラクターの愛称募集ということで11月5日までキャラクターの愛称を募集しております、町の天女キャラクターというかたちで広報を進めておるところでございます。それと、天女のシンポジウムというかたちで、11月23日、もうこれで決定させていただきますけれども、アロハホールのほうでシンポジウムを開催ということで進めているところがございます。それとウォーキングリゾートとですが、あとのほうで出てきますので、これにつきましてはこの天女の降る里づくりでも計画しながら、ウォーキングリゾートのほうに向かっていくというかたちでやっていますので、あとでまた健康推進課長とそちらで説明させていただきたいと思っております。以上でございます。

(蔵本健康推進課長)

27ページ、ウォーキングリゾートプロジェクトでございます。事業の目標といたしましては、ノルディック・ウォーク普及啓発事業参加者数を延べ300人以上とするというふうに設定をしております。進捗状況といたしましては、7月に公認指導員の養成講座を開催しまして10名の指導員を養成いたしました。8月17日から10月2日までの4回、現在まで開催をしております、教室への参加者数が現在のところ105名ということで、達成度が35%といった状況でございます。以上です。

(中本企画課長)

続きまして28ページでございます。ウォーキングリゾートというかたちで、東郷湖周辺で行われているウォーキングにどんなものがあるかということをお知らせのほうにも周知をお願いしたいということで、このページを追加させていただきました。進捗状況としましては、4月27日に「ケータイで健康づくりウォーキング」ということで記念大会があり125人の参加をいただきました。そして通年やられている東郷池春の健康散策ウォーキングに306名の参加がありました。6月にはSUN-IN未来ウォークということで、二日間で延べ約2,800人の参加を受け入れるコースとなっていたということでございますし、8月にはナイトウォークに89名の参加。それと、カフェippo、未来さんが運営されておりますけれども、南谷地区にあります以前の『夢広』のあとに『カフェippo』をオープンしていただきまして、ウォーキングの発信基地というかたちで実施していただいています。そこで10月13日にウォーキングを開催されて200人の参加ということでございました。それと10月14日には秋のウォーキングに190名の参加。それと大きな大会としましては、11月10日、本大会は11日でございますが、ノルディックウォーク湯梨浜大会ということで全国大会を進められているというところがございます。これについては以上でございます。

それと最後になりますが、東郷湖活性化プロジェクト推進会議、この会議でございます。第2回の会議が本日でございます、3月に最終的な本年度の第3回をやるというかたちで予定しております。今回進捗状況の中に書いてありますが、八頭町八東中の1年生が「輝

きセミナー」というかたちで、地域の活性化をテーマとして取り組んでおられます。その関係で、東郷湖活性化推進会議の内容について勉強したいということで10月10日に校外学習のため来町されました。生徒47名、引率者6名で勉強に来られたということで、推進会議についてご説明させていただいたところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。それぞれの事業についてご説明いただきました。どの部分でも結構ですのでご質問やご意見ありましたらお願いします。

(宮本委員：鳥取県中部総合事務所長)

いいですか。ホワイトライアスロンの宿泊者が275.7%ということで、非常に増えていて素晴らしいなと思ったところです。ただ、この日は、SUN-IN未来ウオークもありまして、県外のお客様が大幅に、日本マッチングリーグの加盟で2.5倍くらいに増えて、800人くらい県外からお越しだったということをお伺いしております。もしかしたらその関係もあるのかなと。相乗効果になっていたらいいんですけども、そのへんは単純にそのときの宿泊者数を増としてカウントされたということなんでしょうか？

(山田産業振興課長)

大変多くなっておりまして、結果的に驚いております。所長が言われるようなことが原因かもしれません。しかしながら、このはわい温泉・東郷温泉にという気持ちで宿泊していただけたかもしれません。来年の大会を、とりあえず同じような時期に第5回を計画しましたので、その結果を見ての考えになろうかと。

(宮本委員：鳥取県中部総合事務所長)

はい。分かりました。

(宮脇町長)

これはそういうこと？単純に当日泊まった人が増えただけってということじゃないでしょうか？

(山柘委員：はわい温泉・東郷温泉旅館組合代表)

要は、プラス未来ウオークが重なったということは原因だとは思っているんですけども。

(宮脇町長)

でも、照会は？このトライアスロンに来られた方で泊まられた方というような照会を、旅館組合には？

(山柘委員：はわい温泉・東郷温泉旅館組合)

30名。204名中、組合を通して泊まられたお客様というのは30名なんですわ。そのほかの残り174名のお客様はそれぞれネットでとか直接電話っていうかたちで、結果的に今回は204名だったと。

(宮脇町長)

だからその174名のうちに、未来ウオークの関係が入っているかもしれないってことですね。

(山柘委員：はわい温泉・東郷温泉旅館組合)

まあ、次回どうなるかですね。

(遠藤委員：東郷湖・未来創造会議)

22ページの東郷湖周辺道路整備事業ですが、これは地元の方とかはまた桜の木を育てられるということだと思うんですけども、ここは桜の並木がきれいで、ちょっとウオーキングされてもいいところだと思うんですが、やむを得ず伐採するところについては、新たに植栽されるというような計画はまだされていないですか？

(県土整備局 川原)

そこはちょっと、お話をまださせてもらってありません。いずれにしても、道路敷地から外は民地になりますので、その民地の方の了解とか思いもありますし、何かをイベントみたいなもので植えて、活性化ということで、さらによくしていただくということで植えていただけるといいかなと思います。

(県土整備局 桑田局長)

ちょっとよろしいですか。再度説明しますけれども、ここの15本の話ですよ。15本のところは、この上がちょっと高くなっていて、そこにまた桜の木が植わっています。ということで、多分スペース的に、そのあたりに植えるスペースはもうあまりないのかなというふうに思っています。それから宮内のところのこの9本ですけど、ここを切ってしまうと今度はあと山裾しかありません。ですから基本的には、もうここで切ったものは多分設置は難しいというふうに考えております。同じところにはということです。ですから、今後は、どこかほかのところこういうふうな感じで木を植えたいということであれば、そこのところはまた申し出てもらえればということです。この位置ではもう難しいと思います。

(遠藤委員：東郷湖・未来創造会議)

昨年まで未来創造会議のほうで東郷湖周辺に花の植栽なんかを考えたらどうだという意見もあがっていたものですから、それならここにのせていただければありがたいかなと思っております。

(県土整備局 桑田局長)

ですから、今度はどなたが木の管理とかをされていくのかな、というのが問題となってこようかなとは思いますが。その中でこういうところに植えたいということで、例えば県の土地を貸してもらえたらといったことでしたら、そのへんは十分対応可能だと。その発想はちょっと苦しいと思います。

(遠藤委員：東郷湖・未来創造会議)

はい。分かりました。

(尾崎委員：料飲組合)

単に町民の個人的な感情かもしれませんが、ここの桜並木っていうのは東郷池の半分、西側とか南側が全部見えるんですね。言ってみれば東郷池の一番名物的な場所というか、非常に感情的に切ってほしくないと思うんです。ただ、じゃあどうするかといった

らそのような状態なので、だからそのへんを考えると、できればなるべく残す方法で一つでも検討してもらえればありがたい。

(県土整備局 桑田局長)

道路計画でいきますと、例えば、池側は残るんです。今言っているのは山側。ちょうど石碑のところで、公園のように植えておられますよね。その2段目の下のやつです。

(尾崎委員：料飲組合)

その部分だけではなくて、見ればここに9番とか、その多い場所というか、言ってみればちょうどあやめ池のほうとか、反対側から見た場合に春の訪れを感じられて、見事なんですよ。早くから咲くから。感情論ですけど。

(県土整備局 桑田局長)

池側は残るんですよ、池側は。山側のところは、ここは2段になっていますね。高いところと低いところ。この低いところが消えてしまうかなと。

(尾崎委員：料飲組合)

感情論で申し訳ないんですけど、山歩きのトンネルっていう感覚がね、そういうがあるので、できる限りという話し合いをしてほしいというのが地元の住民の感情。

(県土整備局 川原)

はい。そういうご意向はお伺いしておりますので、最大限配慮していきたいなというふうには思っております。

(尾崎委員：料飲組合)

すみません、感情論でした。

(高野委員：東郷池メダカの会)

あの、その点ですけれども、あの桜の木というのは誰が植えられて現在誰が管理しておられるといったようなことを知らない方も多いと思います。私は聞いたことがあるんですが、どういう状況なんですか。

(県土整備局 桑田局長)

満州のほうに行かれていた開拓団の方が戦後引き揚げられてきて、それでその方々が石碑を建てられ、そしてその周りに木を植えられた。ただ、それ以降かなり年が経ちまして、その方々がもう管理は難しいよということで、どなたかに管理を引き継ぎたいという要望が出ています。というふうに聞いております。

(県土整備局 川原副主管)

そうですね。実際、今手をかけられてない状態になります。

(高野委員：東郷池メダカの会)

かつて、東郷町のときですか、町の関係で木を切ったことがあるんですよ。枝打ちをしたことがあります。実際、私もシルバーで切ったんですけど。ですから、今誰が管理しているか、さっき誰が管理するかといったことを言っておられましたので、それと関連して、どうなっておりどうしたらいいかといったようなことを、ちょっと考えてお聞きしたわけですけれども。

(宮脇町長)

あの、先ほど桑田局長が説明されたように、基本的にはその方たちが高齢になられて、自分たちではよう守りをしないので、なんとかお願いできないかというお話がございました。道路と一体的にあるものですから、私どもも県のほうに管理をお願いできないかと申しあげましたけれども、県のほうも、民地のほうにあるものですから、そこまで手を出して管理する事はできないというようなこともあって、町のほうで管理するならして下さいよ、県で管理しなさいと言われると切りますよ、はっきり言えばそういう感覚のお話だったんです。ですから今は誰が管理しているって、もしかして台風とかなんとかが来てこの間みたいに枝が折れて道路に落ちたときには、みんなそれは県が実質上撤去したり、それは道路管理者の立場でももちろん兼ねてるんですけども、して下さいまして、町は何もしてないというのが今の実情ですよね。だから通常の、いわゆる枝払いとか毛虫対策ですとか、そういったことはしないで放置されているというのが実態だと思います。

(高野委員：東郷池メダカの会)

分かりました。もう一点。これは色々考えのあることだと思いますが、東郷池の周りに桜がたくさんあるということで、非常にきれいなのでいいんだとお聞きしましたが、ただ、ご存知のように今植えているソメイヨシノという桜については、非常に華やかですが短命です。ご存知のように人間の命ほどなんですね。だから少し長い目で考えた場合に、ソメイヨシノがいいか、もう少し長く、時間も長く咲く期間も長く、また風情のある山桜系を植えるというようなことも、これはここでどうってわけじゃないですけど、私たちはそちらがいいんですけども、そういったことも含めて、植える木、桜も含めてどんな経緯かというようなことも考えてもらい、桜が植えてあったからソメイヨシノだというようなことではなくて、もう少し幅を持って木の種類などを考えていただきたいと思います。

(宮脇町長)

あの、その部分はおそらく、県にお願いするというよりも、むしろ未来創造会議の話が先ほど出てきましたけど、その中で東郷湖周に花の咲く木を植えたりしようということがありますから、その中で議論でまたご意見を反映させていただくようなことをしてまいりたいというふうに思います。

(山田会長)

事実だけを知りたいんですが、この工事区間のここに示されている中で、桜の木って何本くらいあるんですか？

(県土整備局 川原)

70本くらいかなと思います。17本と一番左側に書いてありますが、ここの右側ですね、今青色が入っておりますけれども、このあたり全線で約30本程度ございますので、単純に足しますとそれくらいになるんじゃないかなあというふうに思っています。

(山田会長)

はい。他にいかがですか。

(中前委員)

ちょっといいでしょうか。ここの、今ちょうど写真が出てる、3番と4番のところはね、季節によっては稀少種のカスミサンショウウオが下りてくるんです。だいたい冬から春にかけて、この水路の中で産卵するんです。それでそこから大きくなって、また上がっていくとしたら、多分その宮内藤津のほうの山に上がっていくと思うんだけど。普段はそこでは暮らしてないんですけども、冬から春にかけて、ここらへんはちょっと大事に、もし工事にかかる時ですね、大事にしておいてほしいのと、もし落ちてきても上がれる勾配をどっかに付けておいてほしいなと思います。

(県土整備局 桑田)

やるときに、いろいろ相談というかたちになると思います。こういう稀少種がおるといような情報は我々も入手していますので。

(中前委員)

お願いします。

(山田会長)

ほかにかがででしょうか。よろしいですか。では次へ行きます。今度は数値目標の達成状況というところで、これもそれぞれ担当課長からお願いします。

◆数値目標の達成状況

(前田町民課長)

それでは、数値目標の達成状況ということで私のほうは一番上の欄、環境分野についてご説明申し上げたいと思います。数値目標といたしましては、COD 4.5 mg/lということが数値目標に掲げてあります。現在の状況でございます。平成24年度暫定値ということでご理解いただければと思います。4月から9月までのデータということでございますので。暫定値といたしましては8.3 mg/lということで、前年の同期と比較いたしましてかなり数値があがっているという状況でございます。数値につきましては、県の水大気環境課のほうから毎月提供いただいているところでございますが、この水質はCODだけではなくて、特に8月になってから全リン、リンですね、それから窒素、全窒素、これで非常にまあ数値が大幅に上昇していると。これが上昇するということになると、池が富栄養化っていいですか栄養がたくさんあるということで、アオコ等が非常にまた発生すると。それに伴ってDO (=溶存酸素)、これが減っていくと。要するに酸素が池の中にないと、特に下層、下のほうについては非常に貧酸素化が進んでいるということで、特に8月9月、7月から8月、9月にかけて東郷池の水質が悪化をしているという状況でございます。いろんな原因があろうかと思いますが、また専門的な分野からいろいろご助言をいただければというふうに思いますが、原因の一つとして推測されるものが、一つはこの夏場に雨が少なかったということで、東郷池の中の水の対流が生まれずにこの水質が悪化してしまったということ、そういうことから、この度の夏場の気象状況等によってこ

うした数値が出たと思うんですけれども、東郷池の水質CODの数値が非常に高くなってきたというふうに思われます。今の、目標の達成状況の裏面に東郷池水質結果集計ということで、平成24年4月から9月までの数値を記載しております。見ていただきますと、段々と悪くなってるんですけれども、特に8月9月のCODが非常に高くなっているという状況でございます。簡単でございますけれども、以上です。

(山田会長)

では、観光のほうをお願いします。

(山田産業振興課長)

それでは観光を説明させていただきます。目標としましては年間20万人を目標設定しております。これは根拠として書いてありますが、平成14年以降、20万人を割り込んでいるということで、14年以前の目標20万人を設定しておりますが、本年はそこに記載しておりますけれども、昨年同期よりも若干増えております。が、中部の温泉地集計でいいますと、だいたい昨年の2割減という状況で推移をしております。今も同時間に梨の花温泉郷の理事会を開いて対策を講じておるところでございますけれども、軒並み中部では2割近くの減、宿泊数の減となっております。よろしいでしょうか。

次、産業部門でございます。漁獲量年間200トンの目標でございます。足立組合長のほうからまた補足をいただければと思いますが、数字で示しておりますとおり、昨年同期で約5トンの減少ということになっております。これは今年雨がほとんど降らなかったと、最盛期に降らなかったということもありまして、このような数字になっておりますし、漁協からの報告ですと、獲れてもほとんど死んでおるという状態のものが上がってくるというようなことございまして、ここの数値は9月末現在でありますけれども、生産が難しいような状況でございます。

(山田会長)

では、資源のところ。

(中本企画課長)

はい。資源のほうでございますけれども、以前はここにパーセントというかたちであげていましたけれども、先ほど各課長が説明しました実施計画のほうに目標の達成度というかたちでいただいておりますので、それに代えさせていただきますと思います。以上です。

(山田会長)

では、数値目標全般に関して、個別でももちろん結構ですので、ご質問やご意見ありましたらお願いします。

(宮脇町長)

今の、一番最初の水質の部分について、衛生環境研究所のほうで何かご意見あれば伺いたいんですけれど。

(衛生環境研究所 中村次長)

はい。確かに今年の夏は、ご承知のようにこの数値表のとおり、数値が高いんですけれども、例年見られないようなアオコが見られていたということで、その分プランクトンが

多く発生したときにどうしてもこういった数値が高くなりますので、そういったことが原因だろうとは思いますが。ただ、通常ですと、湖ですので当然ある一定程度のプランクトンはあるんですけども、やはりある特定のものが異常に発生するという事は、例年あまりないようなことですので、なぜそういったものが今年の夏出たかということについては、私のほうでは、そこまでは知識を持ち合わせていないということでございまして、それで先ほどの雨が少ないとか、海水の水位が高いとか、そういった池の水か湖の水の流れについてはなかなかうちのほうでも把握しきれいていませんので、湖の水質が、水の中がどうだったか、そういったことも含めて検討しないと、見た目でもCODが高くなったからと言って、なかなかその原因までは非常に難しいんじゃないかというふうには思っております。

(宮脇町長)

水草につきましても、先ほど報告があったんですが、この2年間、昭和の初めの頃の時代の水草とはまた種類が違って、そんなに良くはないんですけども、でも生えること自体はいいことだろうというふうに素人考えで思っていたんですが、そういうのは天候の具合か気温の具合か分かりませんが、発生自体が減るとということになると、なかなか東郷池の環境が一層厳しいほうに向かっておるんじゃないかという気がしたりするんですけど、そのへん何かコメントいただけるとありがたいです。

(衛生環境研究所 中村次長)

すみません。私あまり水草に詳しくないんですけども。うちの研究員で、そういった研究をしていた者もおるんですけども、昨年今年あたりの状況についてはあまり聞いてないので、ちょっとこの場で申し上げられないです。申し訳ないです。もちろんそういった周辺に生えている水草を含めて、湖内に生えている水草を含めて、そういった除去活動、取って肥料にするといったことが、水質浄化につながるということは昔から言われておりまして、周辺の外来種とかも含めて廃絶すべきものだろうと思っておりますけれども、ただ、なぜ今年昨年あたり生えないかというのが、ちょっと私の知識では分からないというのが正直なところでございます。

(宮脇町長)

分かりました。続きはまた聞かせてもらいます。よろしく申し上げます。

(足立委員：東郷湖漁業協同組合)

先ほどからシジミの漁獲量のことについて議題になってるんですが、去年もインターネットに出たんですけど、なんか今回、先ほどからお話に出てるように天候不順っていうか自然相手なものですから、今年は、種取もやってるんですけど、今回20日から稚貝を放流してもらおうようにしてるんですけど、ほとんど種が取れてない。それから産卵が全然うまくいってない。今、毎日漁師さんが出てるんですけど、一人10kgまでという制限してるんですけど、今は5kg獲れたらいいほう。ほとんど漁獲量なんてなくて、休んでる人のほうが多いような状態になってます。今年は、漁獲量はとてもじゃないが追いつくようなわけに行きませんので。それで、11月1日から、禁漁区に一応してあるところも解禁になるんですけど、禁漁区の中も他所から来た泥棒にほとんど獲られちゃってるという感

じで、この間も警察と現場検証に行ったんですけれども、やっぱり見回りしてるんだけど上手に合間を縫って持っていくとか、取りこぼしが落ちている。袋に詰め替えて車に載せて帰るんだけど、それが、人が来て慌てて帰るときに、ちょいちょい袋が落ちて、田んぼの中に。そういうことで入り口とかあの辺を掘ってもほとんどいない。目の細かいじょれんで獲っていくから。そこに貧酸素だのなんだかんだの悪条件がそろって、産卵もうまくいっていない。来年再来年、三年はほとんどダメな状態になるんじゃないかなあと。明日またその対策会議をしてみようかなと思っているんだけど、そういう状態なもので、漁獲量は200トンという目標は当分見込みができない。

(宮脇町長)

あの、対策会議でご検討いただくことに入るかもしれないですけど、組合長さん、それは密漁注意とかいう看板をよく盗りに入るような辺に立てたりしといたらどうでしょうか。住民も注意してみるでしょうし。抑止力に。

(足立委員：東郷湖漁業協同組合)

内漁連の会合があったときに、県条例でも罰金を厳しくしてもらうように県に陳情したんですけど。

(宮脇町長)

だけど、今は実刑になってるはずですけどね。

(足立委員：東郷湖漁業協同組合)

いや、あれは宍道湖であって島根県の県条例です。鳥取県はまだしてないもので。来た連中は100kgも200kgも獲って100万200万稼ぐ。でも警察は20万の罰金を払ったら無罪放免にしちゃうもので。

(宮脇町長)

これまで罰金だったのが禁固になって、それで減るってことだったのでは…。

(足立委員：東郷湖漁業協同組合)

この間も県に聞いたんです。県の条例ではまだそれができない。今回陳情して、議会にかけてもらって、知事の認可をもらってからできないもので。警察も何とか罰金と罰則を厳しくしてもらって、宍道湖と相談しながらやってもらえんדרらうかと、警察にも話をしたんだけど。宍道湖は200万以下の罰金と3年以下の懲役、鳥取県の場合はまだ決まってないもので、捕まえても20万の罰金払ったら帰っていきます。だから当たり前みたいな顔して獲りに来る。警察も捕まえてもすぐ釈放するもので、あたまにくるけどどうしようもないもので、熱が入らんです、みんな。それで、県条例をちょっと強くしてもらうように頼んでいる。何年くらいかかるか、1年くらいかかるんかいな？と聞いたら、いや1年もかからんけど時間はかかるってことで。

(宮脇町長)

またじゃあお願いしたりしていきましょう。所長さんがおられますし。

(山田会長)

他にいかがでしょうか。では今の数値目標以外でも、全体に関わってご意見ご質問あり

ましたら、なんなりおっしゃってください。いかがでしょうか。

(高野委員：東郷池メダカの会)

新聞をちょっと見たんですけれども。この東郷湖活性化プロジェクト事業、それからこの中の25ページに出てるんですけど、東郷湖・未来創造会議というのが確か一緒になっていこうというような話があったんですけど、どのような状況になっておるのでしょうか。

(山田会長)

これは、町長さんか遠藤さん。まずは町長さん。

(宮脇町長)

東郷湖活性化プロジェクトのほうは、コンセプトとしては東郷池の環境をベースにして、東郷湖周の魅力を高め、それを各分野の方たちのご意見をいただいて進行管理なりをしていこうということで、共通コンサルみたいなもので。未来創造会議のほうは、要するに、いろいろ産業とか部会を設けてその中で、同じようなことかもしれませんが、東郷湖の魅力をアップしたりするためにはどういう方法があるかということを議論して、その施策を考えて実施する部隊だと思ってもらったらいいと思います。そのこともだから、この活性化プロジェクトの中で相談されて、またご意見をいただいたりする、そういう位置づけの差があるというふうに私自身は認識しております。考えて実践する部隊と。会長さんそれでいいですか、そう思ってますけど。

(遠藤委員：東郷湖・未来創造会議) はい。

(山田会長)

何かあったら。

(遠藤委員：東郷湖・未来創造会議)

そうですね。まあ1回未来創造会議の結果が出て、それからがこちらの動きが無いのが心配なんですけれども、やはりそこから成功、実践に向けての動きというのを、これから何らかの方法で役場のほうと一緒にやっていかないといけないかなと。これは町民の意見がかなりいろんなかたちで出てきたものですから、それをまとめたところが今のところなんです。それを一部は実行しているものもありますけれども、まだ未着手のところもあったり。さっき言われた湖周辺に花とかのエリアを作ったりだとかいうのも、まだ具体的には、じゃあこうやるんだというのはできていないので、それはまたこれから実行部隊っていうかたちで町に提案したりとかしていかなきゃいけないのかなと思ってます。

(宮脇町長)

ですから考え方で、さっき言いましたように、ここは総合的な進行状況把握をして、それを正したりということですので、比較的団体の方もトップの方に参加していただくようなかたちで構成させていただいてますし、未来創造会議のほうは、要するに自分でやりたい方、団体の中でも若い方、役場職員も管理職じゃない若い職員が参加するという格好で、実戦部隊としての位置づけを強くしているところです。

(高野委員：東郷池メダカの会)

ということは、当分の間は今のかたちでいかれるということですか。

(宮脇町長)

あの、また会長さんと相談しないといけません、委員の皆さんのご意見等があつて、その一本化なりということがあれば、それはあり得るとは思いますけど、当面はそういう格好でやらせていただければというふうに思っております。

(山田会長)

他にいかがでしょうか。先ほど道路の整備計画をお聞きしましたが、これまた別の案件になるのでしょうか。東郷池河川整備計画について。

(県土整備 桑田局長)

河川整備計画は全く違います。

(山田会長)

ではお願いします。

(県土整備局 桑田局長)

それでは、別添でA4の紙1枚が入ってるんですけども、これに基づきまして説明させていただきます。東郷池の河川整備計画と申し上げまして、今の東郷池の場合ですね、湖岸堤等の整備が完全にできているかということ、そうではないというふうな状況になっております。そういう中で、どういうふうに東郷池の安全度を高めるかということをやったらいいかということ、ここにありますように7月の末から8月の盆までにかけて、関係団体と意見交換をし、さらには湯梨浜町内4つの会場でいろいろ話をさせてもらいました。その結果を裏面のカラーのほうで見てもらったと思うんですけども、一応松崎地区では、やはり浸水被害等が多いというふうなことから、湖岸堤を整備してもらえないだろうかというふうな意見が強くございました。一方の旧羽合町側のほうは、堤防云々よりは道路の嵩上げをやってもらえないだろうかというふうな意見が強く出ております。そういう中で、じゃあ具体のイメージはどういうイメージかなというのがこちらです。ここにあります四つ手網の付近の分なんですけれども、今の歩行者帯というんですか、広い歩道のところを若干上げさせてもらって、それを堤防のようにしていこうかなというふうに考えておるところでございます。ということで今、今後第4回の検討会を、12月の6日に開くようにしております。その場で、今の河川整備計画の松崎のあたりの堤防をどれくらいの高さにさせてもらいましょうか、というあたりの素案を提案していきたいというふうに思っています。その上で、ある程度そのところで理解が得られましたら、再度住民説明会を、これも夏と同じように4箇所で行いたいと思っています。松崎それから長和田のあたり、さらには浅津、橋津というふうなかたちで、再度こういった計画でどうでしょうかという説明会をやりまして、そうして今度は広く町内の方に意見を聴きながら河川整備計画を、できれば年度内に第5回の検討会等をして、河川委員会のほうに河川整備計画案というものを提出せられたらというふうに思っておるところでございます。ということで、またいろいろと町報等を介しまして、こういうふうなことをやりよりますよというかたちのPRをさせていただきたいというふうに思っておりますので、皆さんもご参加等をいただけたらなということでございます。以上です。

(山田会長)

今のご説明に対してご質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

(宮脇町長)

あの、松崎地域の方で、湖岸をあげることについて大変な不安を持っておられる方も多
いようですけれども、今お話にあった四つ手網の辺でだいたいどのくらいの高さになりま
すか。あまり視界を遮るような形にはならないような形にしてあるんですけれど、何c m
くらいあがるものだと思えばいいんですか。

(県土整備局 桑田局長)

いろいろこれから話をしていくというかたちになるんでしょうけど、60cm程度かなと。

(宮脇町長)

ということなんですが、立木さん。家の前ですが。

(立木委員：湯梨浜町商工会女性部)

あげても津波対策にはなりませんね。でも、ないよりはいいと思います。

(宮脇町長)

あの、津波は多分、東郷池には大丈夫だと。

(県土整備局 桑田局長)

津波とかの場合は、逆に水門がありますよね。水門で閉めてしまいますから、あまりこ
こまでの津波の影響っていうものは考えなくていいんじゃないかなと思います。ただ、今
60cmくらいと言いましたけれども、当然想定している雨というものがあります。です
から、いくらあげたから、もう大丈夫ということでは全くないわけでごさいますて、や
はりどうしても松崎のあたり、そうはいつても浅津のあたりは、つきやすいというのは残
ります。ですから大雨等の場合は、やはりある程度は逃げていただくというふうなことを
一緒にやらないと、あの堤防をちょっとあげたから大丈夫というわけにはまいりません
ので、そこだけは充分そのあたりも防災対策というのをやっていたきたいというふうに思
います。

(山田会長)

他にいかがですか。これからいろんな説明をされて、住民の方に意見を聴かれて、具体
的なことを考えるということですよ。

(県土整備局 桑田局長)

はい。というのが、意見交換というか住民説明会をやったんですけれども、皆さんの出
が悪くて。言い方は悪いですが、二桁いったのは松崎だけです。ほかのところはあ
まり出てこれなかった。もう少し東郷池に関心をもってもらいたいなど。

(宮脇町長)

町としても責任を感じておまして。皆さんもぜひ声かけのほうをよろしく願いでき
たらと思います。

(山田会長)

私は東郷池に隣接して住んでいるので、ものすごく関心が高いので。他にいかがでしょ

うか。では、何枚か資料を配っていただいているんですけど、事務局のほうからちょっと広報方をお願いします。

(中本企画課長)

では資料のほうで。先ほどもちょっと説明させていただきました。湯梨浜町の天女キャラクターというものを公募しており、689名、900の作品の中から、今回このキャラクターというかたちで、今後町の宣伝を兼ねてPRしていこうと。それで進めていく中で、今はちょうど愛称の募集というかたちですけれども、11月5日まで愛称を募集しております。これが募集要項になっておりますので、皆様もキャラクターの愛称を募集していただけたらなと思っておりますのでございます。よろしくをお願いします。

(山田会長)

あと、天女シンポジウムとか、こういうのも。

(中本企画課長)

先ほど未来創造会議の中で説明した天女シンポジウムについてでございますが、11月23日、勤労感謝の日でございますが、その日にアロハホールでシンポジウムを開催したいと考えておるところでございます。最初に、午前10時ごろから天女のぬり絵教室を開きまして、その後シンポジウムを13時から開催していきたいと思っております。それで特別講演として平井知事のほうに来ていただいて、「地域力を結集したまちづくり」というかたちでの講演と、基調講演としましては「伯耆の国の天女伝説」というかたちで、鳥取大学の名誉教授の野津教授のほうに天女の伝説ということで講師を受けていただいておりますし、そのあとパネルディスカッションというかたちで、3名及び4名の方のお話を伺いながらネルディスカッションを開催していきたいと考えておるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

さかなクンのはいいですか？

(前田町民課長)

会議の資料に配布をさせていただきました。さかなクンの講演会についてご紹介したいと思っております。これは鳥取県との共催事業でございまして、12月16日、日曜日でございます。ハワイアロハホールにおきまして、さかなクンの講演会といいますか、トークショーをしたいというふうに考えてございまして、現在その準備を進めておるところでございます。「ギョギョっと、びっくり、さかなクン！東郷池のお魚たちとともに～！！」ということで開催をするようにいたしてございまして、町内の小中学生等にぜひ来ていただきたいなというところがございます。入場料無料ということで考えております。定員オーバーとなれば、抽選をさせていただければということは考えております。なお、本日の会議にも出席していただいておりますが、中前先生のほうにもご参加いただくようにしておりますので、皆様方にも参加をお願いできたらなと思っております。以上です。

(宮脇町長)

これは整理券ですか？

(前田町民課長)

用紙の後ろに申込用紙をつけさせていただいております。超えた場合につきましては、抽選をというふうに考えております。

(宮脇町長)

事前申込みで、整理券を出すの？

(前田町民課長)

はい。

(山田会長)

各委員から、何か言っておきたいことありますか？

(宮本委員：鳥取県中部総合事務所長)

この全体の骨組みを見ますと、やっぱりその中で一番大事なのは、まず東郷池がきれいではないと他のところに波及できないんだと思うんです。で、今日の間接報告ですけど、結構厳しい状況が分かりまして、このまま最終の報告、年度末の報告ということに持っていてもいいものだろうかと思ったりして。どうなんでしょうか。それぞれの部会で、専門家の方も、鳥大の先生とかですね、ご意見も伺ったりしてちょっと方向転換なり、ある程度こうプラスして取り組むことも必要であればそういうこともしていかなきゃいけないのではと、ちょっと危機意識を持ったようなことなんですけれど、皆さんはどう思われましたでしょうか。

(山田会長)

このCODの数値というのはどういうふうにはじきだしてるんですか？この期間の月々の平均値をここで出してるんですか？どういうふうに見たらいいでしょうか。この期間に、何ヶ月間かありますね、4月から9月までの水質の値っていうのは、どういうふうに計算してここに出てるんですか？

(前田町民課長)

75%値になります。全体の上と下との数値が出てるんですけども、その平均というよりも、その数値の75%値を、その達成状況には入れております。4月から9月までの数値がありますんで、その平均と言ったら50%ですけども、その75%値を。

(山田会長)

4月にずっとこういうのを全部やって、その75%、そういう言い方ですか？だと年間だと同じようなことで、年間をやっておいて75%という、そういうやり方をするんですね。今、所長さんがおっしゃったことに関してどうでしょうか。

(宮脇町長)

私が先ほどお尋ねしましたのも、そういう心配をしながらで。あの、このさかなクンのトークショーのときには議論というか意見交換みたいなものはないの？

(前田町民課長)

現在予定しておるのは、北浜中の科学部の生徒さんが東郷池のこの環境という水質等について勉強されております。その報告をしていただくこと、それとさかなクンの講演、

それと中前先生との掛け合いと、掛け合いと言うかトークショーということで計画はしております。

(宮脇町長)

これ12月ですから、それまでにできれば、先ほど所長がおっしゃった学識経験者の方とか、あるいは衛生環境研究所それから栽培漁業センターの方たちのご意見を聴く会をやってみたらどうですか？こういう状況になってるんだけどもど。

(仙賀副町長)

私のほうからいいですか。あの、水質浄化を考える会、これを年に1回ないし2回開催するようになっておりまして、その中で再度、本年度中にもう一回開いて代表委員と一緒に協議していきたいと思っております。

(山田会長、宮本委員：鳥取県中部総合事務所長)

ぜひよろしくをお願いします。

(山田会長)

他にいかがでしょうか。では閉じさせていただいてもよろしいですか。特に無ければ終わります。どうもありがとうございました。